

# 南硫黄島周辺海底火山等の最近の活動について\*

海上保安庁水路部

本会報第43号に報告した後の、南硫黄島周辺海底火山及び南方、南西諸島の活動状況は、以下のとおりである。

ここで報告する期間は、1989年(平成元年)2月23日から1989年(平成元年)4月13日までである。

1. 福神海山	北緯	21度56分
	東経	143度28分
日光海山	北緯	23度04.5分
	東経	142度18.5分
南日吉海山	北緯	23度30.4分
	東経	141度54.3分
海徳海山	北緯	26度07.3分
	東経	141度06.1分

第1表に示すように、この期間はいずれの海底火山にも変色水は認められなかった。

第1表 福神海山、日光海山、南日吉海山及び海徳海山の火山活動の経過

Table 1. Volcanic activities of the Hukuzin Seamount, the Nikko Seamount, the Minami-Hiyosi Seamount and Kaitoku Seamount.

年月日	観測結果	出所
1989.2.23	変色水を認めず。	海自航空機
" 3.16	"	"
" 4.13	"	"

2.

2. 福徳岡ノ場	北緯	24度17.0分
	東経	141度29.1分

第2表に示すように、この期間はその規模の大小の差はあるが、変色水が認められている。

\* Received Aug. 30, 1989.

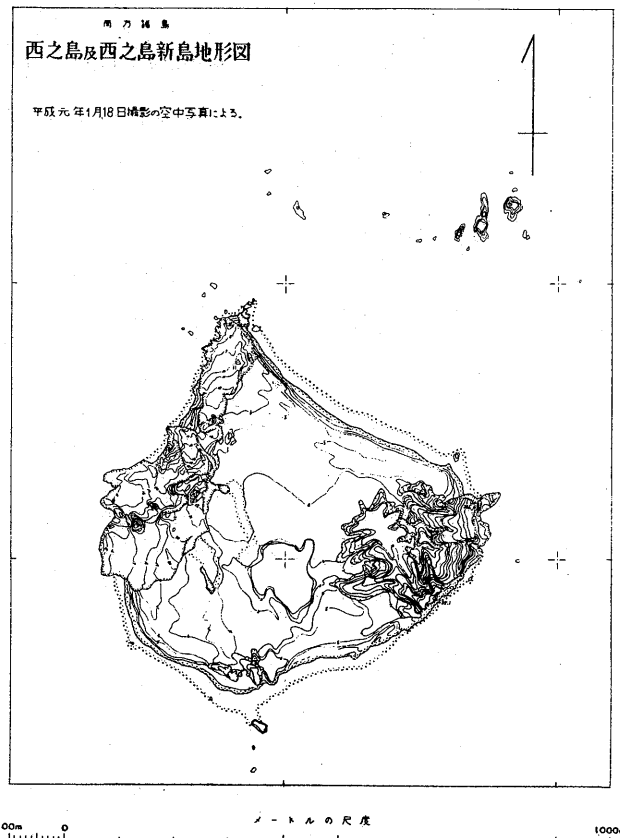
第2表 福徳岡ノ場の火山活動の経過

Table 2. Volcanic activities of the Hukutoku Oka-no-Ba.

年月日	観測結果	出所
1989.2.23	縦1400m, 横900m, 北側黄緑色, 南側黄土色の楕円形の変色水を認めた。	海自航空機
3.16	緑黄色並びに鮮明な青色の変色水を認めた。	〃
4.13	幅30m, 長さ1000m, 240°方向に流れるコバルトブルーの変色水を認めた。	〃

3. 西之島及び西之島新島 北緯 27度14.5分  
東経 140度52.8分

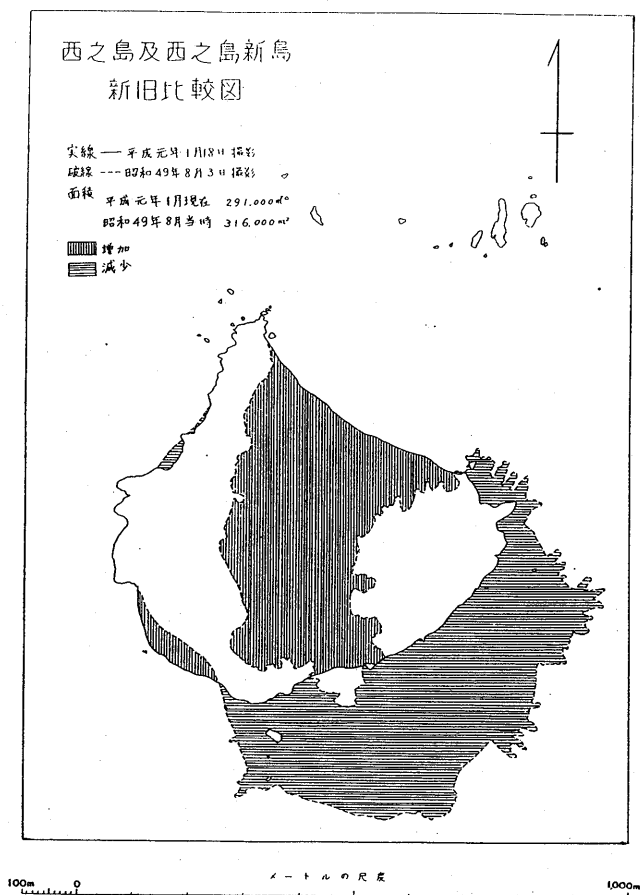
1989年(平成元年)1月18日海上保安庁所属航空機(YS-11)により同島の写真撮影(マルチバンドカメラ)を実施し,地形図(第1図)を作成した。西之島及び西之島新島の面積は301,000m<sup>2</sup>(池の面積10,000m<sup>2</sup>を含む),体積は1,472,000m<sup>3</sup>である。



第1図 西之島及西之島新島地形図

Fig.1 Topographic map of Nisi-no-Sima and Nisinosima-Sinto  
Jan. 18, 1989

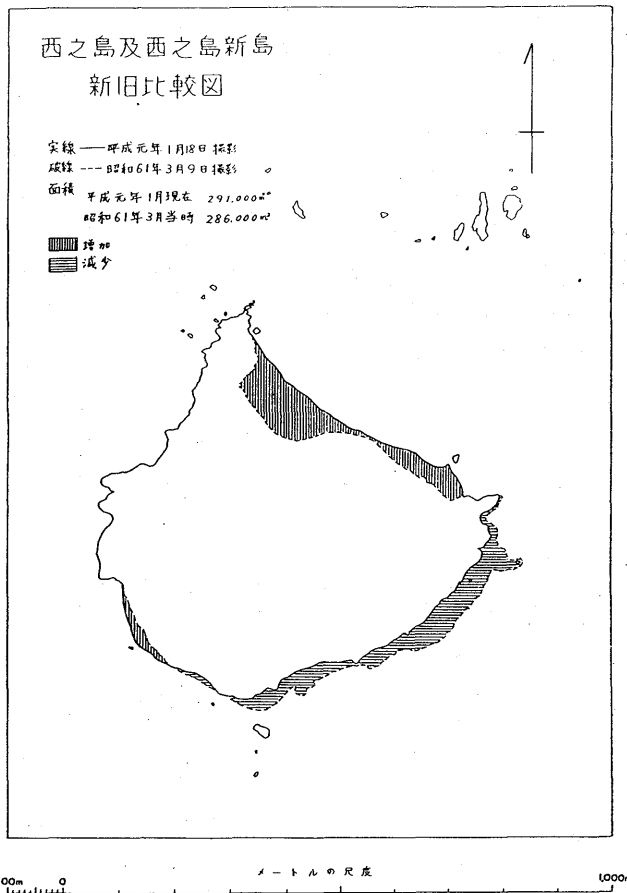
第2図は1974年(昭和49年)8月(新島の面積最大)の地形図と比較したものであり、島の東側から南側にかけての陸部の減少が著しく、入江付近の陸部の増加が目立っている。また、面積は約15,000 m<sup>2</sup>の減少となっている。



第2図 西之島及西之島新島新旧比較図

Fig.2 Topographic change of Nisi-no-Sima and Nisinisima-Sinto  
-Jan. 18, 1989. ....Aug. 3, 1974

第3図は前回(1986年(昭和61年)3月9日撮影)の地形図と比較したものであり、島の南側の海岸線は後退しているが、北側は砂礫の堆積がみられ、陸域を広げている。島の面積は前回の面積に比べ約20,000 m<sup>2</sup>増加している。



第3図 西之島及西之島新島新旧比較図

Fig.3 Topographic change of Nisi-no-Sima and Nisinosima-Sinto

— Jan. 18, 1989 ..... Mar. 9, 1986